

# いわて復興だより

がんばろう！岩手 つながろう！岩手

## 三陸復興

第81号

平成27年3月15日号

### 復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げます、この「つながり」を大切にしていきたいと思っております。

雪解けも始まり、顔を出した野山や、少し暖かくなった陽射しに、待ち遠しかった春が近いことを感じます。復興に向けて歩み続ける岩手の今を紹介します。

東日本大震災津波から4年を迎えた平成27年3月11日（水）、ご遺族や関係者らおよそ550人が参列し、岩手県と野田村の合同追悼式が野田村体育館（同村大字野田）で開催されました。

追悼式では、犠牲になった村民28人の名前が読み上げられた後、政府主催の式典が生中継され、地震が発生した午後2時46分には出席者全員で黙とうを捧げました。

達増知事は、式辞で「犠牲になられた方々のふるさとへの思いを引継ぎ、県民が力を合わせて復興に邁（まい）進してまいります。」と復興に向けた誓いを述べました。

また、ご遺族を代表して、野田村の広内実（ひろないみのる）さんは、4年の歳月を振り返り、「犠牲になった人たちのことを忘れないでほしい」とは言いません。ただ時々でいいので共に生きたことを思い出していただきたい。東日本大震災は、決して過去のものではないのです。今後、必ず発

## 開かれ ました 岩手県・野田村 合同追悼式が

野田村

生する災害として考え、犠牲者を出さないための防災に取り組んでいただきたい。」と思いを語りました。

閉式後に行われた献花では、小泉進次郎復興大臣政務官らご来賓、ご遺族、多くの参列者らが、一人ひとり白い菊の花を献花台に手向け、静かに手を合わせ、震災の犠牲者に祈りを捧げました。

この他に、津波被害を受けた沿岸市町村をはじめ県内各地でも追悼式が行われ、それぞれに復興への想いを誓うと同時に、決して忘れてはならない“3.11”を心に刻みました。

東日本大震災津波により、岩手県では、5,122人（直接死4,672人・関連死450人）の尊い命が奪われ、今もなお、1,129人の方が行方不明になっています。（平成27年2月28日現在）



合同追悼式の会場



ご来賓の方々による献花



達増知事による式辞



ご遺族代表献花

### いわて復興応援団（員）大募集中！

知って、買って、食べて、行って応援！

登録無料



首都圏等にお住まいの方を対象に、応援団員（個人）と応援団（法人及び団体）の登録を募集しています。登録者には岩手県の復興の取り組みや観光・物産・首都圏でのイベント情報などをお届けします。

詳しくは岩手県東京事務所ホームページをご覧ください。

いわて復興応援団

検索

## 「JR 山田線」宮古～釜石間の復旧工事が始まりました

宮古市～釜石市

東日本大震災津波の被害により、およそ4年間にわたり運休が続いているJR山田線の宮古駅から釜石駅間(55.4キロ)の復旧工事が平成27年3月7日(土)から始まりました。

同日、JR宮古駅付近の特設会場で行われた着工式には、JR東日本の富田哲郎社長、達増知事、沿線の市町長ら関係者約90人が出席。

JR東日本の富田社長は「この路線が地域の足として活躍できるように協力していきます。」と述べました。

復旧工事にあたっては、復興まちづくりの状況を踏まえ、沿線の自治体と協議しながら進めていくこととしています。



着工式で鉄入れを行う関係者



工事が始まる「山田線第34開伊川橋梁」

## “ラグビーワールドカップ2019”釜石市が開催地に

釜石市

平成31年に日本で開催されるラグビーワールドカップの試合会場の1つに、釜石市が決定しました。

これは、平成27年3月2日(月)、ラグビーワールドカップリミテッドの理事会から発表されたもので、開催都市には、釜石市をはじめ花園ラグビー場を有する大阪府東大阪市等、12の都市が選ばれました。

釜石市は、東日本大震災津波で壊滅的な被害を受けた鶴住居地区に、およそ1万6000人を収容できる「釜石鶴住居復興スタジアム(仮称)」を新たに建設する計画。

開催経費等、約29億円の費用を見込み、釜石市を中心とした被災地復興の起爆剤として期待されています。



建設されるスタジアムの完成イメージ図(写真提供:釜石市)

被災地・三陸の復興へ向け、多くの若者が情熱を注いでいます。連載「未来のさんりくびと」では、毎号、復興への熱い想いを秘めた若者を紹介していきます。第35回目は、川村 将崇さんを紹介します。

### PROFILE

山田町出身。

高校卒業後、一般企業に就職したが、平成25年から家業のうどん店「釜揚げ屋」を手伝う。

平成26年1月にシーカヤックを主体としたレジャー事業「GEOTRAIL(ジオトレイル)」を起業。カヤックと山田町の海の魅力を発信し続けている。

### 若者に広まるまちづくりへの関心

高校時代には、実際の街の標高や海の水深などを縮小した模型に津波発生装置を使い津波を起こし、どこまで津波が到達するかなどを調べる「津波模型」を作り、全国防災大賞を受賞した川村さん。

生活していた地域は、海拔1~2m、海からも

## 未来のさんりくびと

GEOTRAIL(ジオトレイル)  
代表・インストラクター  
川村 将崇  
(かわむらまさたか)さん



川村さんからのひと言:  
「カヤック」の町 山田町  
カヤックに乗って山田を楽しみましょう!!

数十mしかなく、以前から津波や防災に対する意識が高かったことで、東日本大震災津波発災時、自分も家族も助かったそうです。

「現在は、元通りに戻す“復旧”だと感じています。一方、若い人たちは、自分のふるさとが消えてしまったことを機に、これからのまちづくりへの関心が高まっています。」と語ります。

### 地域の素材を活かして交流人口増を

日本セーフティカヌーイング協会公認ベシックインストラクターでもある川村さんは、“ジオトレイル”を立ち上げ、エコツアーにも力を入れています。「エコツアーは、地域の素材を活かして何かを作り上げるものだと思います。山田町はアクティビティなどで遊ぶ場所や景勝地がなく通過点の印象が強くありますが、山田町には素晴らしい海があるので、シーカヤックを通じて新しい交流人口を増やしていきたい。私たちが山田町での楽しみを提供していきますので、是非一度山田町に足を運んで下さい。」

### 岩手県の被害状況

平成27年2月28日現在

- ▶人的被害 死者(直接死):4,672人 行方不明者:1,129人
- ▶建物被害(住家のみ、全半壊) 25,713棟

被害状況等の詳細

義援金・寄付金の募集等

[いわて防災情報ポータル](#)

[検索](#)

### 皆様のご支援、ありがとうございます

平成27年2月28日現在

- ▶義援金受付状況 約182億2,276万円(90,908件)
- ▶寄付金受付状況 約196億3,117万円(7,237件)
- ▶いわての学び希望基金受付状況 約72億1,844万円(15,037件)

※被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。

ビジュアル豊富な【いわて復興だより [Web](#)】もご覧ください!!

<http://iwate-fukkoudayori.com>

いわて復興だより 第81号 平成27年3月15日号 企画・発行:岩手県復興局復興推進課 ☎019-629-6925

いわて復興だよりバックナンバーは

[いわて復興だより](#)

[検索](#)

編集・印刷:シナプス

【次回のいわて復興だよりについて】次回は4月15日号の発行を予定しています。